

2013年9月20日

2013年度第2回研究会（通算第51回）

1, 高圧電位負荷水の紹介

ドリトル動物病院 綿貫和彦先生

日本理工医学研究所 岩坪範光氏

水道水に高電圧をかけて作った高圧電位負荷水を飲用させると、新陳代謝を高め、歯石の発生を防ぐなど、さまざまな治療効果があることが解明されている。

水道水に5時間にわたり高電圧をかけると水の集団分子（クラスター）が小クラスター化され、細胞への浸透力と洗浄力が高められ、結果的に新陳代謝が高められる現象が観察されている。

症例

高齢のため麻酔がかけられないイヌに対して高圧電位負荷水を飲用させたところ3ヶ月で歯石が減少し、口臭も著しく改善した。

全身性慢性毛包虫症のイヌにミルベマイシンの経口投与と共に高圧電位負荷水を飲用させたところ、第14病日に虫体の消失と体臭の改善、炎症の改善が見られ、第28病日に良好な発毛が見られた。

高窒素血症の15才のイヌに高圧電位負荷水を飲用させたところ、高窒素血症が急激に改善し、正常値となって安定した。

高窒素血症の16才のネコに高圧電位負荷水を飲用させたところBUN49~75mg/dlであったものが30mg/dlに低下し、その後も安定している。

本研究会では高圧電位負荷水の製造装置を購入し、臨床に応用することになった。その成果は次回の研究会で各会員から報告される予定である。

次回の研究会は2013年12月6日に開催予定